



浜田宏一著

国際的な政策協調の実現に貢献 金融政策の経済効果研究の先駆者

評者

土居丈朗 慶應義塾大学経済学部助教授



1982年刊
創文社
(品切れ・重版未定)

米国のF.R.B.は、バーナンキ新議長が就任し、今後の金融政策の行方が注目されている。米国の金融政策の影響は、米国内だけにとどまらない。当然ながら、通貨供給、金利を通じて、為替レートにも影響し、世界各国の経済にも影響を及ぼす。

しかも、各国の金融当局が常に共同歩調で政策の舵取りをしているわけではない。米国には日本、ヨーロッパ、中国などとは異なる米国の経済事情があり、必ずしも同じ利害を持つているわけではない。

が国際的に影響を及ぼした事例の一つでもある。

は、一九八五年のプラザ合意以前の米国が対日経常収支赤字拡大にさきなまっていた頃で、まだ国際政策協調が具體化する前のことである。本書は後に英訳もされ、日本経済学者が端緒を開いた研究

対立が表面化したりする。わが国でも目下の火種は、量的緩和政策解除をめぐる政府・与党と日本銀行のあいだの見解の相違である。中央銀行の独立性を楯に、金融政策は日銀の専管事項だから、財政政策の動向とは独立して独自の判断で行なつてよい旨の主張や、量的緩和政策の解除は政府の財政政策の方針（財政健全化）と協調して判断すべきとの旨の主張など、当事者や専門家の意見も大きく分かれている。

民主主義国家である以上、選挙の洗礼を受けていない日銀が独断で政府の意に反した政策を行なつていいはずはない。日銀は、政

企業再生ファンド、不動産投資ファンド、ヘッジファンド……。社会人ならこれくらいは知っておきたいという日本経済の「主役」を、そこには、国際的に協調しないでさまざまな機会で国際的な政策の調整が行なわれるようになつた。合にどのような帰結になるかを、

が、財政政策と金融政策の協調については、依然として悩み深いものがある。EU加盟国でも、各國共通の金融政策を採る欧州中央銀行と各国の財政当局とで、利害が必ずしも一致しないため、時折対立が表面化したりする。

本書をはじめとする経済学の研究で明らかにされたことが一つの背景としてある。

新刊フランシュ

図解でわかる投資ファンド

今田栄司

日本実業出版社 1500円

中国人の99.99%は日本が嫌い

若宮清

ブックマン社 1333円

ヨーロピアン・ドリーム

ジェレミー・リフキン

柴田裕之訳

N H K 出版 2800円

最高のリーダー、マネジャーがいつも考えているたったひとつのこと

マーカス・バッキンガム

加賀山阜朗訳

日本経済新聞社 1900円

の財政政策と利害が異なる場合に、独自の政策を行なうとどんな国民経済の損失が生じるかを理解すべきである。今後、政府と日銀の政策協調がますます重要なよう

に注目しているか？ 最高のリーダーといわれるトップクラスの人たちだけが知っている、たった1つのことを明らかにする。

本書は、各国の政策当局が必ずしも協調しない状況を前提に、各国の金融政策が国際的にどのような経済効果をもたらすかについて、先駆的に研究した書である。時代

後に英訳されて 国際的に評価

は異なる米国の経済事情があり、必ずしも同じ利害を持つているわけではない。

が国際的に影響を及ぼした事例の一つでもある。

プラザ合意以降、金融政策をはじめとして先進国間の政策協調の機運が高まり、主要七ヶ国財務相・中央銀行総裁会議（G7）など

当事者や専門家の意見も大きく分かれている。

民主主義国家である以上、選挙の洗礼を受けていない日銀が独断で政府の意に反した政策を行なつていいはずはない。日銀は、政

企業再生ファンド、不動産投資ファンド、ヘッジファ

ンド……。社会人ならこれくらいは知っておきたいという日本経済の「主役」を、図解でわかりやすく解説。